

(行政視察・政務活動・**議員研修**) 報告書

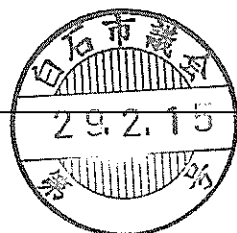
平成29年 2月15日

白石市議会議長 佐久間 儀 郎 殿

議員氏名 小 川 正 人

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成29年 1月26日(木) ～ 1月27日(金)
調査・研修先	市町村職員 中央研修所(市町村アカデミー)
調査事項 (研修事項)	「人口減少社会に期待される議会の役割」
対応者・講師等	下記のとおり
概要	日本の地方議会の現状と課題
① 背景・目的	早稲田大学 政治経済学術院
② 内容・特色	政治学研究科教授 片木 淳 氏
③ 主な質疑	① 地方分権の進展や人口減少社会の到来を踏まえ、住民自治の根幹をなす機関として、地域の実情に応じた効果的な議会機能の発揮が求められている。
④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	② 議員の構成について、女性の議員の割合が男性の議員に比べて著しく少なく、また、60歳以上の議員の割合が特に町村議会において高いなど、住民の構成と比較した場合に、偏りが見られる。  ③ 都道府県議会や町村議会において、無投票当選の割合が増加傾向にあることなどに表れているように、議員のなり手の不足が深刻な問題となっている。  ④ 地方選挙の投票率が低下するとともに、都市部においては議員と住民の関係が希薄であるなど、地方議会に対する住民の関心が大きく低下している。



⑤ 政務活動費の使途の問題等により、議員の資質や活動に注目が集まるとともに、議会のあり方が問われるなど、地方議会及び議員に対する住民の信頼確保が大きな課題となっている。

#### ◎地方議会の選挙制度の改革

現行の選挙制度の改革を検討すべきである。

「制限連記制」の導入、例えば、議員定数20名まで2名、30名まで3名、40名まで4名、41名以上5名

これにより有権者の投票に対する意識を高めて投票率を押し上げる。また、無所属候補者たちの政策ごとのグループ化及び、議員の多様化を促す事が出来る。

#### 人口減少社会における議会の役割

人口減少社会において、地方議会は、

- ① 市民自治の理念の下、
  - ② 市民との双方向のコミュニケーションを行い、
  - ③ 人口の減少・高齢化や財政難などの厳しい現実を直視するとともに地方自治体の意思決定機関としての責務を自覚し、
  - ⑤ 市民の信頼を確保しながら、その期待に応えていく。
- 必要がある。

これからの市民は、ドイツの「市民自治体」構想のごとく

- ① 自治体の単なる「顧客」としてそのサービスを受けるだけでなく、
- ② 自治体という共同体を構成する一員として、その責任を分担し、行政サービスの提供に協力、参加すべき者であると共に、さらには、
- ③ 主権者として、自治体の運営を代表に委託し、必要な場合には自ら直接これに携わるべき者である。

この様な市民と議会の関係になれる様努力していきたい。

## 改めて見直す日本の魅力

関西国際大学客員教授

李 容淑（りーようすく）氏

外国人が訪日前に期待していた事（2015年）

1) 日本食を食べること

2) 日本の酒を飲むこと

訪日外国人観光客一人あたりの消費額

中国 126,818円

ベトナム 103,832円

タイ 64,473円

平均 57,033円

香港 47,519円

台湾 39,815円

フランス 30,810円

韓国 18,223円

日本で任期のおみやげ購入率

お菓子類 64.6% 8,932円

食料品 53.1% 10,601円

服、かばん 38.0% 29,064円

電気製品 14.4% 39,586円

カメラ、ビデオ、時計 10.6% 63,163円

注) 複数回答のため100%を超している。

※訪日観光客消費拡大の要因

・ 外部的要因

・ 所得要因 経済成長により個人所得の上昇

・ 価格要因 円安、消費税免除制度の拡大など手頃な感じの  
認識拡大

・ 内部的要因

・ 品質要因 日本製品の品質における信頼性、食、買い物  
テーマの訪日マーケティング実施

※日本の新たな観光資源

1. 温泉
2. ゴルフ場
3. 日本酒

日本で行う成功事例

- ・あかべこ作りの体験（会津若松市）
- ・刃物技術見学（堺市）
- ・そば道場体験（鳥取県）
- ・市場めぐり（北海道）
- ・蔵元めぐり（北海道）
- ・阿波踊り参加（徳島県）

成功事例を参考に白石市も宮城県と協力して、一人でも多くの観光客が増加するような政策を検討実施していきたい。

日本政治の行方

京都大学公共政策大学院院長

中西 寛 氏

- ・安倍政権は努力が功をなし、外交は成功している。
- ・アメリカとの経済交渉は、今年4月ごろ動きがある事だろう。
- ・中東政策は、イスラエルが首都をエルサレムにした場合混乱が予想される。
- ・世界は、アメリカのトランプ氏に注目しており、今年はオランダ、フランスの選挙が有り、ヨーロッパの選挙が注目されておる。特に、右派勢力の躍進はあるのか。
- ・対ロ政策は、進展はないだろう。

○これからは、地方の実感を政治に反映させ、経済を活性化させなければならないと感じた。

先生の話で、一番感銘を受けた言葉は、

「人は経験よりしか学べない」

「怒りと感情の政治は民を良くしない」

これからは、この言葉を肝に銘じて議員活動を頑張りたい。

## 日本経済、今後の針路

法政大学法学部教授

水野 和夫 氏

- ・世界史とは経済と富をめぐる戦いであった。
- ・その結果、世界に貧富の差ができた。
- ・世界上位8人の収入は、貧困者80億人と同じ収入である。

〈近代の原理原則〉

- ・より遠く
- ・より速く
- ・より合理的に

※近代の思想

「個人は、社会より、先に存在する。」

資本主義の歴史と、これからのあり方の様な話であった。

トランプ大統領の経済政策はまったく予測が出来ないとの事であった。

●まとめ

改めて日本の魅力を見直す勉強の場となった。私も白石市の魅力を考え、探して観光に生かしたいと思った。

この研修の内容は、自治体経営の課題であり、大学教授の方々の理論的な事が多かったので、今後の研修は実例の内容を多く、してもらおうようアンケートに記載した。